

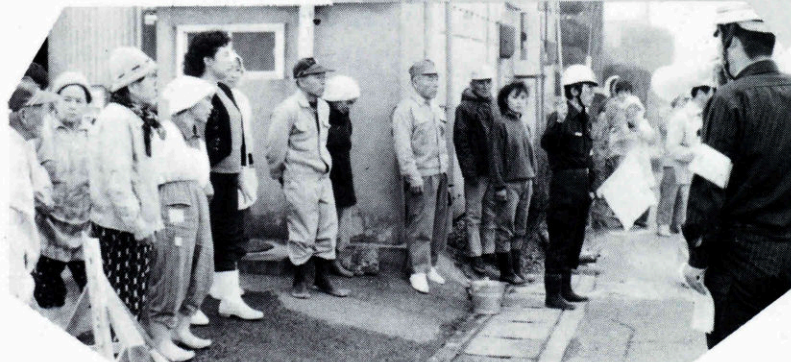
# 大切さ 再認識 大演習終わる

火防ぎょ演習が、油谷町の掛淵・渡場地区、芝崎地区、東大坊・駅通地区演習内容を逐次放送するなど、本番さながらの緊張感の漂う中、消防関係われました。演習終了後、アトラクションとして幼年消防クラブ員によるの感想を三名の方にお聞きし、また演習などの写真を紹介いたします。



◀バケツリレーで初期消火を行う掛淵地区のみなさん

▶渡場橋の上からの放水訓練



▶演習後の講評を聞く芝崎地区のみなさん

## 演習の成果を糧に消防活動の充実をめざす



油谷町消防団長  
西島敏達

平素より、吾々消防活動に各位の格段のご配慮を賜り、団務を円滑に遂行できますことを、先ず以って感謝申し上げます。

さて、11月26日、山口県主催の大火防ぎょ演習が、油谷町を会場として、県内各防災援護機関の協力参加を得て展開されましたが、特に演習区域内の各位には、格別のご協力を戴き、県より「成功」の評を受けました。この主旨通り、住民の防災意識の浸透が高く評価されたわけであります。この演習成果を糧として今後ますます複雑化する災害に対し、万全の態勢をとるとともに、予防活動に今後とも地域住民との連けいを密にし町民の負託に答えるべく一層の努力する覚悟であります。

最後に今回の演習に参加いただいた地区住民の方々のご協力に対し深く感謝いたします。



掛淵部落長  
伊村 勇

## 一致団結で 災害を 最小限に

かねてより長門地区消防署西部出張所の署員さんより、細部にわたり指示をうけ、大部落でもあることから早くより班長さんにお願いで、人員の配置、連絡事項等、度々相談を重ね大丈夫と思いがながらついに訓練の日が来ました。部落の皆さんは、特に消火器を使いオイルパン、プロパンガスの消火等相当の不安のようでしたが、訓練が始まると不安はウソのように、バケツでの消火等も整然とおこなわれました。

また消防署の署長さん以下の指揮系統もよく行き届き、一糸乱れのない団員さんの行動に深く感銘をうけました。大火のとき、消防関係者と住民とが一致団結してやれば大きな災害も最小限に止めることができるのではと、つくづく思った一日でした。